

特集

入職希望者のニーズを捉えた採用活動

組織社会化はここから始まる

1人でも多くの優秀なスタッフを集めたいという思いは各施設共通のもの。インターンシップや臨地実習、そして採用活動全体のプロセスを、未来のチームメンバーの育成や組織社会化のファーストステップと位置付け、これらの機会の質を高めていくことが求められている。こうした背景を踏まえ、本特集では、“採用される側”のニーズや関心に焦点を当てて、より効果的かつ魅力的な採用活動を展開する方法について考察する。

「ここで働きたい!」という思いにつなげる採用活動 ●大曾根衛

入職希望者育成の視点から考えるインターンシップ

大学と自治体が協働した取り組みから ●山本均

採用活動のプロセス管理 入口・出口の費用対効果を検証する ●深澤優子

【実践報告：東京慈恵会医科大学附属病院】

看護学生の特性を踏まえた採用活動 ●高橋直美

【実践報告：名寄市立総合病院】

就業先選択につなげるための臨地実習の再考 卒業生からの評価を踏まえて

●平野智美

【実践報告：済生会横浜市東部病院】

求職者の多様な関心を踏まえた採用活動 ●早川みつほ

巻頭

うちの師長会・主任会㊟ 九段坂病院

特別記事

看護師以外の社会人経験のある看護師が仕事を継続していくための効果的な支援

東京都保健医療公社多摩北部医療センターの取り組みから ●小坂智恵子

スタッフに歓迎される障害者雇用の実現

国立がん研究センター中央病院の取り組み ●福田一行／那須和子

【東京医科歯科大学医学部附属病院の看護マネジメント】

【座談会】倫理性と効率性の両立を目指した高齢者看護の質改善③

現場の変化を捉え、課題解決に導くための看護管理者の役割 ●川崎つま子ほか

編集後記

▶2008年のがん対策基本法成立を契機にがん対策の充実が推進され、近年の診療報酬改定ではがんに関わる取り組みに対する評価の新設が続き、本年の改定においても、「終末期に近いがん患者の外来から在宅への連携」「緩和ケア病棟における地域連携」への評価が予測されています。2月号の特集では、在宅療養中あるいは治療期を終えつつあるがん患者の在宅療養移行支援の充実について、コミュニティベースの包括的な緩和ケアという視点から考察しました。山崎章郎先生からは在宅医として関与するケースの約半数がひと月以内に亡くなっており、最後の時間を駆け抜けるように亡くなってしまうがん患者・家族のために、地域に根差した専門家チームによる迅速かつ集約的な支援が必要とのお話が聞かれました。ほかにも各地域の限られた資源の中で最大限の力を発揮するための工夫をご紹介しています。ご参考にいただければ幸いです。(小齋)

▶本号の特集でも触れられていますが、がん医療には告知から治療、在宅移行と非常に多くの意思決定の場面があります。心身ともに大きな負担を抱えながらの選択は、患者さんやご家族にとって非常につらいものだと思います。▶支援するツールの1つとして、国立がん研究センターが運営するサイト「がん情報サービス」に、「重要な面談にのぞめる患者さんご家族へ」という冊子があります。医療側に聞きたいことのチェックシートで、全てを聞く必要はありませんが項目数は53にものぼります。この項目数の多さを見て、がんという疾患には本当に多くの悩みが積みまうのだと実感しました。▶必要とする情報を、適格かつ適切に提供するための連携についてもご紹介しました。患者さんやご家族が本当に悩んでいることを引き出し「患者さんの生きる」を支援していく際に、本特集を役立てていただければ幸いです。(宇津井)

看護管理 第26巻第2号

2016年2月10日発行(毎月1回10日発行)

発行 株式会社医学書院

代表者：金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2016, Printed in Japan

定価 本体1500円＋税

2016年年間購読料

冊子版 本体16920円＋税

冊子＋電子版／個人 本体19920円＋税

冊子＋電子版／共有 本体22500円＋税

電子版／個人 本体16920円＋税

電子版／共有 本体19500円＋税

(いずれも送料弊社負担)

『看護管理』編集室(担当：小齋、宇津井、伊藤)

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

[年間購読のお申し込み先]

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は、(株)医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複製、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構委託出版物)複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構の許諾を得てください(Tel03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp)。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された[0917-1355/16/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPY]は、1論文1回複製の料金を明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。

facebook やってます!

アカウントをお持ちの方は「看護管理」で検索していただき、「いいね!」をお願いいたします。
http://www.facebook.com/kangokanri1991
●twitterアカウントは、@kangokanriです。
合わせてフォローをお願いいたします。